

個別事業費	89 千円
交付金額	44 千円

地域の実情と課題

男性の相談窓口は女性のそれと比較して少なく、男性の悩み等を受ける相談機関の整備・拡充が求められる。
静岡市は、徐々に相談件数が増加しているが現状相談員が5人体制であり、各相談員の負担が大きく、事業拡大や相談員の突発的な事情への対応も困難である。

事業の特徴

令和5年度静岡県と共催で県内在住男性（自認）を対象に男性相談員養成講座を実施した。その中から、新規の男性相談員の担い手を確保し、相談員の実践スキルを向上させるために、OJT指導、相談事業に関わる知識を学べる研修、日頃の相談業務での悩みなどを専門知識を有する方にスーパーバイザーとしてアドバイスをを受ける場を設けた。

事業の効果

講座の内容を理解できた人の割合（受講者アンケート） 100%（達成）
研修等実施回数 3回（達成）

目的・目標

性別役割分担意識に縛られ悩みを抱えている男性の孤独・孤立解消のため、相談回数拡充に向けた新規相談員の育成及び人間関係、仕事、生き方などについて相談を受けるスキルの向上を図ることで、相談しやすい環境を整備する。
・講座の内容を理解できた人の割合（受講者アンケート） 80%（達成）
・研修等実施回数 3回（達成）

連携団体

静岡県、県内中部の自治体、市認定男女共同参画団体等

今後の課題

新しく相談員となった方への継続的な補助や研修などが必要である。

事業の概要

困難や悩みを抱える男性の相談を受ける新規の男性電話相談員の育成を実施した。

・相談員のOJT指導

新しい相談員のフォローやフィードバックができる体制を作るため、1回の相談に対して2名体制で相談事業を行った。(5または6回/人)

・研修

市男性電話相談員・その他関係者を対象に、相談事業に関わる知識を学べる研修を年1回実施した。

・SV

新しく市男性電話相談員となった方への支援として、日頃の相談業務での悩みなどを専門知識を有する方にスーパーバイザーとしてアドバイスを受ける場を年2回設けた。



06 静市共第 411-1 号
令和 6 年 6 月 4 日
男女共同参画・人権政策課長

静岡市男性相談事業における相談員研修会の講師の派遣について（依頼）

当課では男女共同参画社会の実現に向け、平成 20 年 5 月から男性電話相談「メンズはっ
とライン静岡」を実施しており、人間関係や健康、労働、生き方など、男性からの様々な悩
みに関する相談に応じています。

この度、相談員の専門知識向上を目的とした研修会を下記のとおり実施することといた
しました。

つきましては、御多忙の折、誠に恐縮ではございますが、下記のとおり講師を派遣して
いただきたいと思います。

記

- | | |
|---------|---|
| 1 日 時 | 令和 6 年 7 月 6 日（土）午前 9 時 30 分から午前 11 時 30 分まで |
| 2 会 場 | 静岡市女性会館（アイセル 21）研修室 |
| 3 内 容 | 依存症について |
| （予 定） | 第 1 部 依存症の概要（こころの健康センター）（50 分程度）
第 2 部 依存症の事例（スルガダルク様）（50 分程度） |
| 4 講 師 | こころの健康センター 佐原 奈央 主査
スルガダルク 施設長 白鳥 節也 様 |
| 5 参加予定者 | 静岡市男性相談員、メンズ・サポート・しずおか（相談員養成団
体）メンバー、静岡県男性相談員（おざれみ男性電話相談） |
| 6 その他 | 本研修参加者には研修以外で資料を使用しない旨を伝えておりま
す。
講師職員の時間外は、当該にて対応いたします。 |

（担 当）
市民局 男女共同参画・人権政策課
男女共同参画・人権政策係 大塚・副主
内線 81-2252
外線 221-1349